

項目番号	1	項目	学習内容を明確にした授業の徹底
学校名	深谷市立藤沢中学校		
タイトル	学習課題や流れが見える授業		



「学習指示カード・見出し」は、予想される見出しをパウチし、裏に磁石を付けておく。一つにまとめ、各教室の黒板に常備しておく。(学校で共通)



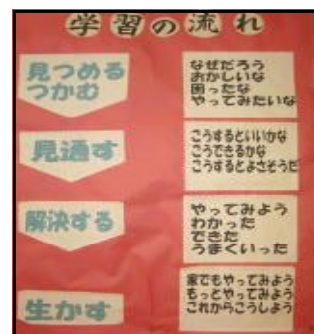
授業の中で、どのような活動をしていくのか黒板に示す。何をすることのわからなくなった場合にも、生徒が確認できるので、安心して学習に取り組める。時間や学習形態を記入すると、さらにわかりやすくなる。



「学習課題」「学習目標」「ねらい」を導入で、明示する。この授業で、何を学ぶのか、何をできるようにするのか、視覚に訴え意識を持たせる。常にフィードバックできるように最後まで消さない。指導者は学習内容の定着の確認を行う。

学習記録カード（自己評価カード）やワークシート等に学習課題を記入し、さらに意識を深める。また、終末に自己評価や感想を記入することで、学習内容が身に付いたか、振り返りを行う。

学習課題	感想
幼児の成長	
幼児の成長	
幼児の成長	
幼児の成長	
幼児の成長	
幼児の成長	



共通となる学習の流れを、どの授業にも掲示しておく。

【成果】
 学習に取り組む前から消極的だった生徒も、とりあえずやってみようとする姿が見られるようになった。また、自己評価や終末における感想も、「何がわかったのか」「どのようにできたのか」「どこがむずかしいのか」など、より具体的な記述が多くなった。授業を大切にしている意識が高くなった。